

特集

学びひろがり 深まる

かわさき市民アカデミー 開学30周年

1993(平成5)年10月に開学した全国有数規模の生涯学習講座「かわさき市民アカデミー」(以下「アカデミー」)が、今年で開学30周年を迎えます。初代学長は高橋清川崎市長(当時)でした。「学びの場」「自分探しの場」「仲間づくりの場」として、30年間受講生の学びをつむいできました。

NPO法人かわさき市民アカデミーの理事の皆さんにお話を伺ってみましょう。

かわさき市民アカデミーとは?

理事Aさん 川崎市民およびその周辺地域の皆さんのための「市民による市民大学」で、市民のボランティアの方々によって運営されています。優れた講師の方々をお招きし、開学時550人だった受講生も現在では年間延5,500人となり、規模・内容とも日本有数の市民大学に成長しました。

どこで開講していますか?

理事Bさん 会場は、中原区の川崎市生涯学習プラザを拠点に、市内7つの会場で開講しています。



どのような講座があるのですか?



理事Cさん 政治・経済、歴史・文学、音楽や美術に加えて、科学系の講座を多数実施していることが特徴の一つです。



私たちの住む川崎とその周辺についての理解を深めていただく「川崎学」では、5つの講座・ワークショップを実施しています。川崎市生涯学習財団と協働で企画・運営する地域密着型の「地域協働講座」も行っています。「川崎学」や「みどり学」では実際に現地に出向いて学習することにも取り組んでいます。

2023年度後期は、全56の講座・ワークショップを開講します。オンライン併用講座も、多くの方に活用いただき定着しています。56の講座・ワークショップの内、27の講座・ワークショップでオンラインを併用しています。



一つのテーマを3回で集中的に学ぶ短期集中講座もあるんですね。今期でいえば、『ロシア・ウクライナ戦争』を取り上げた「国際関係」講座・ワークショップや、『AIとロボット-空・海・陸の大規模観測と予測』をテーマとした「活躍する科学・技術」講座のように、今知っておきたいことをその道の第一人者から学べるのはとても魅力的です。

30周年記念のシンポジウムは、受講生以外もオンライン視聴できるそうなので、私も視聴して、途切れることなく30年間続いているアカデミーの魅力を探りたいと思います。

外に飛び出し、現地で学ぶ



「川崎学」

地域との密着性が高い



「地域協働講座」

当日の運営だけでなく、企画立案も行う世話人(受講生有志)の皆さん



「運営代表世話人会議」

開学30周年記念イベント

日程 12月9日(土曜日)

《午前の部》9時30分から11時30分

- (1) 記念式典
- (2) 記念鼎談

福田 紀彦(川崎市長)

太田 猛彦(認定NPO法人かわさき市民アカデミー理事長・東京大学名誉教授)

藤嶋 昭(認定NPO法人かわさき市民アカデミー顧問理事・東京大学特別栄誉教授)

《午後の部》13時から16時

「新しい時代の市民大学」

- (1) 基調講演

講師: 坂口 緑(明治学院大学社会学部教授)

前日本生涯教育学会会長

かながわコミュニティカレッジ運営委員会委員長)

- (2) シンポジウム

コーディネーター: 田中 雅文(日本女子大学名誉教授・

川崎市教育委員会教育委員)

シンポジスト: 坂口 緑(明治学院大学社会学部教授)

大澤 悠季(シブヤ大学学長)

馬場 康雄(かわさき市民アカデミー学長

東京大学名誉教授)

記念イベントには誰でも参加できます。参加申し込みの詳細は、かわさき市民アカデミーホームページをご覧ください。オンラインでも視聴できます!



受講生の声



生活の大事な部分になりました。アカデミーがあるという安心感があります。受講したいときに受け入れてくれて、好奇心が満たされるアカデミーのような所が近くにあるのは幸せだと思います。

私にとってアカデミーは、生活の一部です。好奇心が旺盛なので、何でも知りたいと思い、いろいろ受講しています。



話を伺っていると、刺激になること、参考になることがあります。

私は、プラザに来るために身なりを整えて気持ちも立て直す、その多少の緊張感がいいなど。対面で、仲間と一緒に受講するところに魅力を感じます。

受講生の皆さんが、自分から参加して、いろいろな人と交わりながら、自分なりに考えて行動しているところに魅力があります。



■認定NPO法人かわさき市民アカデミー

〒211-0064

中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話 044-733-5590

FAX 044-722-5761

メールアドレス info@npoacademy.jp

事務局開室日 平日

お問い合わせ時間 9時~16時

